

# 《平成29年度 上下水道部 組織目標の達成状況》

## ◆目標管理者

部長 寺西 健二

**1. 現状認識**  
(重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)

<水道事業(経営)>  
・節水型社会の浸透により使用料収入の大幅な伸びは期待できない状況です。  
・平成27年度に中間見直しを行った水道ビジョンおよび水道事業経営計画(平成23年度～平成33年度)に基づき事業展開を図っています。  
・事業開始から50年が経過し、老朽化した水道管の更新と併せて、震災等に備えたライフラインとしての機能確保が求められます。  
・水需要の減少など水道事業を取り巻く環境の変化を注視し、安定した事業経営を続けていくことが必要です。

1 <下水道事業(経営)>  
・下水道事業の施設整備率も99.6%となり、未整備箇所の多くは承諾の得られない私道部分となっております。  
・事業着手から40年以上が経過し、老朽化施設の更新や効率的な維持管理が必要となっております。  
・下水道事業は利用者のみなさまからの下水道使用料のほか、総務省の繰出基準の通知に基づき、環境保全の観点の大きい経費については一般会計からの繰入金により経営を行っています。  
・使用料収入はほぼ横ばい傾向となっておりますが、下水道事業を取り巻く環境の変化に注視しながら、引き続き事業の推進と安定的な経営を行うことが必要です。



**2. 重点目標**

<水道事業(経営)>  
老朽水道管の更新の順次実施、震災等に備えたライフラインとしての機能確保を考慮した整備・更新・改修を進めながら、安定的な水道水の供給と健全な経営を継続して行えるよう、水道事業経営計画に基づき、水道料金の10%還元を平成33年度末まで実施しながら、計画と実績による経営状況の確認を行い、分析と改善の検討を行います。

① <下水道事業(経営)>  
老朽化が進む施設の点検調査および耐震診断を実施し、施設の状況を把握した上で、老朽化と地震への対策を行うと同時に、集中して実施してきた初期投資の更新時期の平準化を目指します。  
また、企業債残高は229億円を上回り、資金面では厳しい状況が続きますが、順調に減少する計画で進んでおり、下水道事業第8期経営計画において定めたとおり、サービス水準の維持向上と経営の効率化を行い、長期的な視点で公営企業としての健全経営を目指してまいります。



**3. 目標達成のための取組と成果目標**

【取組】  
水道事業および下水道事業について、事業や経営状況の把握を行い、水道事業経営計画、下水道事業経営計画の進捗管理を行います。

① 【成果目標】  
事業計画の目標達成状況や経営状況の確認分析と、今後の展開について上下水道事業運営委員会への報告および公表を行います。



**4. 課題解決に向けた平成29年度の具体的な取組**  
【年度末実績】

【取組実績】  
水道事業については、平成27年度に見直しの計画どおり、水道料金10%還元を継続しました。また、水道ビジョンの目標との確認を行い、計画どおり遂行していただけることの確認を行いました。  
下水道事業では、第8期経営計画での計画通り、平成29年度より、一般会計からの繰出金の方針を継続しつつ、「分流式下水道等に要する経費」についての繰入金部分を、一般会計からの借入金に変更して実施しました。また、経営状況の把握を行い、事業の推進を図りました。

① 【成果目標実績】  
上下水道運営委員会へ事業の現状や今後の展開を報告するとともに、その議事内容をホームページに公表しました。  
開催日 平成29年12月21日(木)  
議事  
・平成28年度水道事業会計の決算概要について  
・平成28年度下水道事業会計の決算概要について  
・草津市水道ビジョンおよび水道事業経営計画の目標と実績について  
・草津市下水道事業第7期経営計画(後期)の目標と実績について  
・平成29年度主要な事業内容について  
・今後の予定について  
・浄水場耐震補強事業の概要について

2 <水道事業>  
・昭和39年に一部給水開始した上水道施設(取水・導水・送水・配水等)の老朽化が進み、大量更新時期を迎えています。  
・近年、日本各地において多大な被害が生じる地震が度々発生しています。その中でも平成23年に発生した東日本大震災、平成28年の熊本地震では、水道を含む社会基盤施設において甚大な被害が生じており、大地震の発生に備え、災害に強い浄水場等のライフラインの確保が求められています。  
・草津市水道ビジョンにおいて「災害に負けない水の道を築きます。」という目標を掲げ、事故・災害対策を施策として位置づけています。



水道ビジョンでは法定耐用年数40年を経過した管の一律更新を目標値としておりましたが、平成23年度に策定した管路整備更新基本計画に基づき「基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所に至る管」の更新事業を優先的に進めます。  
また、地震等の大規模災害の発生により、職員や資機材、ライフラインの使用が大幅に制限される状況下においても、高いレベルで水道機能の確保と復旧を図り、適切な業務遂行を行うことを目的として水道業務継続計画(BCP)を策定します。

②

③ ・草津市水道ビジョンで掲げたロクハ浄水施設耐震率100%(平成31年度)の目標達成に向けて耐震整備を進めます。  
・老朽化が進んだポンプ・電気設備等について、長期計画に基づき設備更新を行います。



【取組】  
(1)管路整備更新計画に基づき、中大口径管、医療・災害拠点に至る管を中心に更新を行います。(事業費) 651,998千円  
(うち平成28年度予算明許繰越 80,170千円)  
(2)災害時等においても水道供給を短時間で再開できるよう業務継続計画(BCP)の策定を行います。(事業費) 14,040千円

② 【成果目標】  
(1)配水管更新工事 更新延長 5.2km  
(うち平成28年度予算明許繰越 0.5km)  
(2)業務継続計画(BCP)の策定

【取組】  
(1)ロクハ浄水場新館の耐震補強工事を実施します。  
平成29年度債務負担工事、平成31年度完成  
[監理費] (H29事業費) 3,823千円  
[監理費+工事費] (総事業費) 1,340,118千円  
(2)浄水場長期改修計画に基づき、設備改修工事を実施します。(事業費) 194,344千円  
・北山田浄水場配水ポンプ盤取替工事 (155,331千円)  
・ロクハ浄水場旧館高度処理施設揚水ポンプ取替工事 (15,066千円)  
・ロクハ浄水場他無停電電源装置取替工事 (23,947千円)

③ 【成果目標】  
(1)ロクハ浄水場新館耐震補強工事  
(2)機器等の更新工事。  
・北山田浄水場配水ポンプ盤取替 取替 9面、増設 3面  
・ロクハ浄水場旧館高度処理施設揚水ポンプ取替 5台  
・ロクハ浄水場新館など無停電電源装置取替 3台



【取組実績】  
(1)中大口径管、医療・災害拠点に至る管を中心に、計画どおり整備更新を実施しました。  
(2)上下水道業務継続計画(BCP)を策定しました。

② 【成果目標実績】  
(1)配水管更新工事 更新配水管更新延長3.4km (うち平成28年度繰越分0.6km)  
(2)上下水道業務継続計画(BCP)策定

【取組実績】  
(1)ロクハ浄水場新館耐震補強工事に着工しました。  
平成29年度から平成31年度完成  
(2)浄水場長期改修計画に基づき、設備改修工事を実施しました。  
・北山田浄水場配水ポンプ盤取替工事  
・ロクハ浄水場旧館高度処理施設揚水ポンプ取替工事  
・ロクハ浄水場他無停電電源装置取替工事

③ 【成果目標実績】  
(1)ロクハ浄水場新館耐震補強工事に着工しました。  
(2)次の機器等の更新工事を実施しました。  
・北山田浄水場配水ポンプ盤取替 取替 9面、増設 3面  
・ロクハ浄水場旧館高度処理施設揚水ポンプ取替 5台  
・ロクハ浄水場新館など無停電電源装置取替 3台

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
<p>3</p> <p>&lt;下水道事業(長寿命化、耐震化、農集排接続)&gt;          ・公共下水道の事業着手から40年以上が経過し、公共下水道施設の老朽化が懸念されます。          ・下水道施設の老朽化により維持管理等にかかる費用は年々増大し、将来の下水道経営に甚大な影響を及ぼしかねない状況にあります。          ・東日本大震災で得た教訓をもとに、下水道施設の耐震化の市民意識が高まっています。          ・大震災の発生に備え、災害に強いライフラインの確保が求められています。          ・市内6地区の農業集落排水施設、処理場が供用開始後20年から28年が経過し、施設の老朽化により維持管理費が増加しています。</p>	

2. 重点目標	
<p>④</p> <p>下水道施設ストックは膨大な量となることから、経年変化による計画的な老朽化対策が必要となっています。下水道長寿命化支援制度を活用した下水道長寿命化計画に基づき、予防保全型事業を継続的に進めるため、計画を2年間延伸し、ライフサイクルコストの低減を図ります。          また、上記支援制度から、新たに創設された下水道ストックマネジメント支援制度へ移行し、ストックマネジメント計画に基づき調査・点検を進めます。</p> <p>下水道長寿命化計画      平成25年度～平成29年度          (平成31年度まで延伸)</p>	
<p>⑤</p> <p>大震災など大規模災害に強い、下水道施設の防災対策を進めるとともに、災害等の危機に遭遇した場合においても、重要な業務を短時間で再開できるよう、防災および減災対策を進めます。          また、平成30年度からの第2期下水道総合地震対策計画の策定を行います。</p> <p>下水道総合地震対策計画(第1期)      平成25年度～平成29年度          下水道総合地震対策計画(第2期)      平成30年度～平成34年度</p>	
<p>⑥</p> <p>処理場施設の老朽化等への対応や効率的な経営を行うため、市内6地区の農業集落排水の公共下水道への接続について、計画どおりの事業実施に努めます。</p> <p>農業集落排水公共下水道接続事業      平成25年度～平成31年度          (平成32年度中接続予定)</p>	

3. 目標達成のための取組と成果目標	
<p>④</p> <p><b>【取組】</b>          公共下水道長寿命化計画に基づき、マンホール蓋の交換による長寿命化対策工事および計画の更新を行います。          (事業費) 256,500千円          また、ストックマネジメント計画に基づき、調査点検を行います。          (事業費) 20,057千円</p> <p><b>【成果目標】</b>          ・下水道蓋長寿命化工事      蓋交換    825箇所          ・下水道長寿命化計画の策定(期間延伸)          ・下水道施設カメラ調査業務      調査延長 8,500m</p>	
<p>⑤</p> <p><b>【取組】</b>          下水道施設の防災対策および減災対策を行うため、平成30年度からの下水道総合地震対策計画の策定を行い、下水道の流下能力の確保や緊急輸送路の機能確保を図ります。          (事業費) 15,000千円</p> <p><b>【成果目標】</b>          下水道総合地震対策計画(第2期)の策定</p>	
<p>⑥</p> <p><b>【取組】</b>          公共下水道への接続に向けた年次計画に基づいた管渠敷設工事を行います。          (事業費) 1,016,599千円          (うち平成28年度予算明許繰越 339,599千円)</p> <p><b>【成果目標】</b>          農業集落排水公共下水道接続工事      整備延長 2,081m          (うち平成28年度予算明許繰越 591m)</p>	

4. 課題解決に向けた平成29年度の具体的な取組 【年度末実績】	
<p>④</p> <p><b>【取組実績】</b>          公共下水道長寿命化計画に基づきマンホール蓋の交換と長寿命化計画の更新を実施しました。          また、ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設カメラ調査を行いました。</p> <p><b>【成果目標実績】</b>          ・下水道蓋長寿命化工事      蓋交換    828箇所          ・下水道長寿命化計画を策定(期間延伸)          ・下水道施設カメラ調査業務      TVカメラ調査 8,400m          管口カメラ調査 8,200m</p>	
<p>⑤</p> <p><b>【取組実績】</b>          平成34年度までの草津市公共下水道総合地震対策計画の策定を行いました。</p> <p><b>【成果目標実績】</b>          下水道総合地震対策計画(平成25年度～平成29年度)の計画を見直し、平成34年度まで計画期間を延伸しました。</p>	
<p>⑥</p> <p><b>【取組実績】</b>          農業集落排水を公共下水道に接続するための管渠敷設を実施しました。</p> <p><b>【成果目標実績】</b>          管渠敷設工事を実施しました。          常盤地区      φ200～800 整備延長1,157m          (うち平成28年度予算明許繰越 616m)</p>	